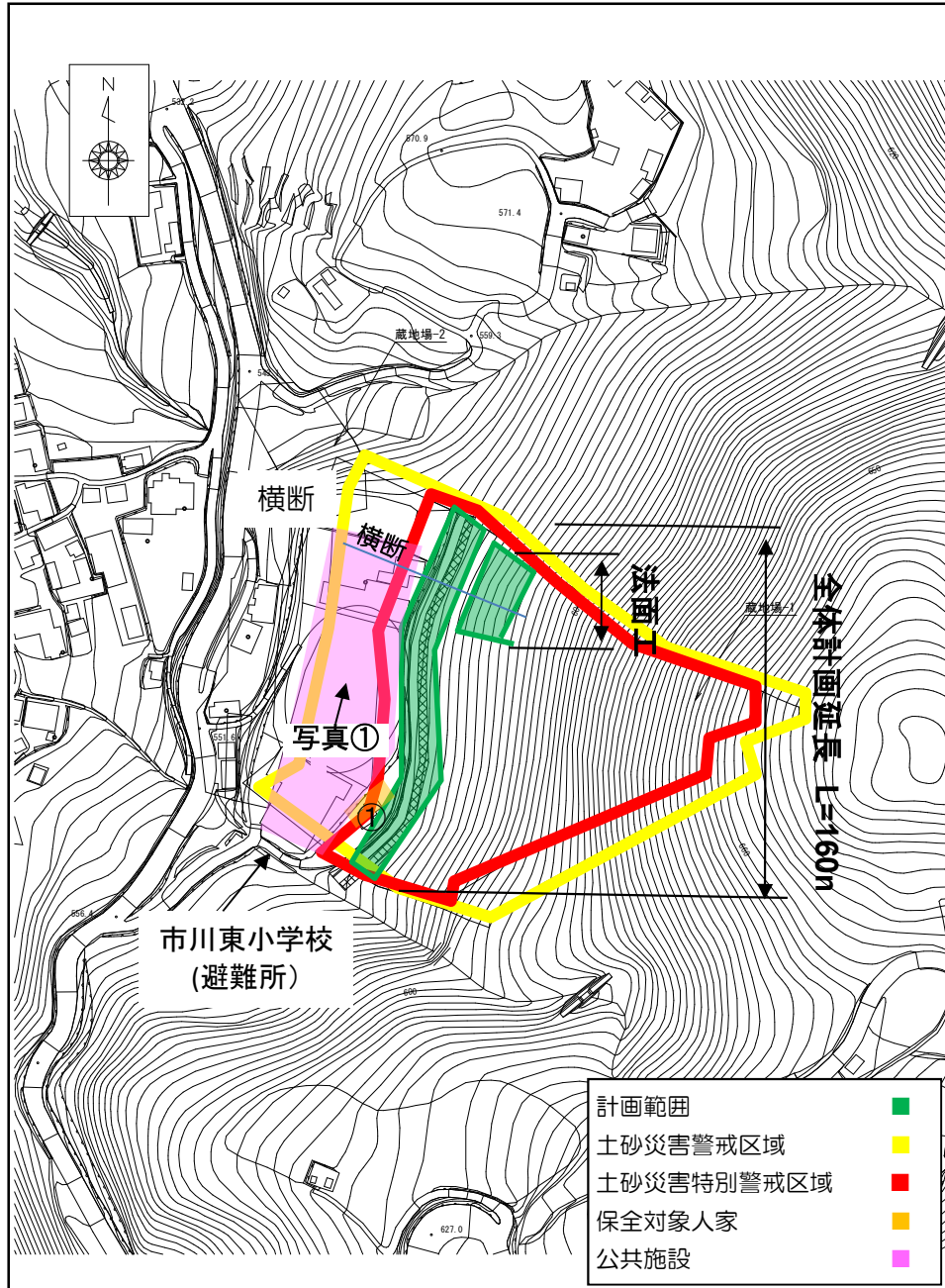


1. 事業説明シート

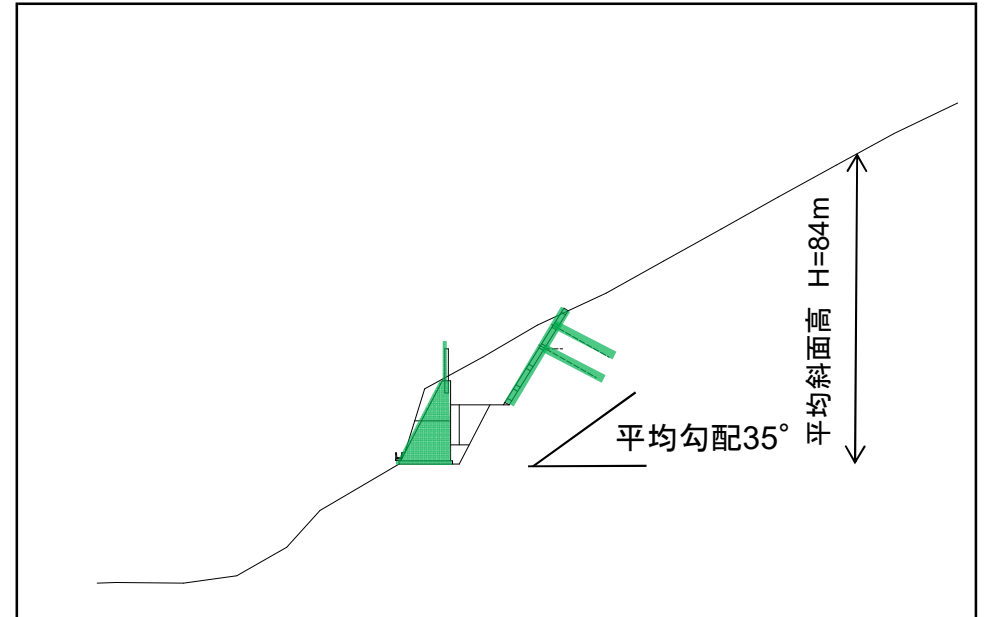
事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	事業箇所	西八代郡市川三郷町山保	地区名	蔵地場-1 (クラチバイチ)	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
<p>①課題・背景 蔵地場地区は、山梨県市川三郷町に位置する急傾斜地であり、平成19年3月19日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は、平均斜面高84m、平均勾配35度の急傾斜地で、保全対象には、人家1戸、町地域防災計画で位置づけられた避難場所があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：人家1戸 < 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：有 市川東小学校 (町地域防災計画で位置づけられた避難場所) ※評価基準値</p> <p>□副次目標 —</p> <p>□副次効果 —</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>350 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R11</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>284 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">760 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>284 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">26 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">0 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">14 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">720 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">2.7</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 地元要望に基づいており、市川三郷町から受益者負担金の同意は得られている。</p>				総事業費	350 百万円	工期	R4~R11	基準年	R3	経済効率性	費用	284 百万円	便益	760 百万円		建設費	284 百万円	一般資産被害	26 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	0 百万円				人的被害	14 百万円				その他※	720 百万円		B/C			2.7		
総事業費	350 百万円	工期	R4~R11	基準年	R3																																								
経済効率性	費用	284 百万円	便益	760 百万円																																									
	建設費	284 百万円	一般資産被害	26 百万円																																									
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	0 百万円																																									
			人的被害	14 百万円																																									
			その他※	720 百万円																																									
B/C			2.7																																										
(2) 整備内容				総合評価																																									
<p>①整備内容 重力式擁壁工 L=160m、法面工 A=1,200m²</p> <p>②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和11年度</p> <p>④総事業費 約350百万円 (国費:166.25百万円(4.75/10)、県費:166.25百万円(4.75/10)、その他17.5百万円(0.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>地形測量・地質調査・詳細設計</td> <td>15 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>用地測量・調査、用地取得・補償</td> <td>15 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>法面工</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>法面工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>重力式擁壁工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>重力式擁壁工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>重力式擁壁工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>重力式擁壁工</td> <td>60 百万円</td> </tr> </table>				令和4年度	地形測量・地質調査・詳細設計	15 百万円	令和5年度	用地測量・調査、用地取得・補償	15 百万円	令和6年度	法面工	20 百万円	令和7年度	法面工	60 百万円	令和8年度	重力式擁壁工	60 百万円	令和9年度	重力式擁壁工	60 百万円	令和10年度	重力式擁壁工	60 百万円	令和11年度	重力式擁壁工	60 百万円	[貢献度ランク:b]																	
令和4年度	地形測量・地質調査・詳細設計	15 百万円																																											
令和5年度	用地測量・調査、用地取得・補償	15 百万円																																											
令和6年度	法面工	20 百万円																																											
令和7年度	法面工	60 百万円																																											
令和8年度	重力式擁壁工	60 百万円																																											
令和9年度	重力式擁壁工	60 百万円																																											
令和10年度	重力式擁壁工	60 百万円																																											
令和11年度	重力式擁壁工	60 百万円																																											
<p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 小規模地山施設 (落石防護柵・重力式擁壁)</p>				<p>(4) 事業位置図等</p>																																									

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



1 写真方向 保全対象・斜面状況

